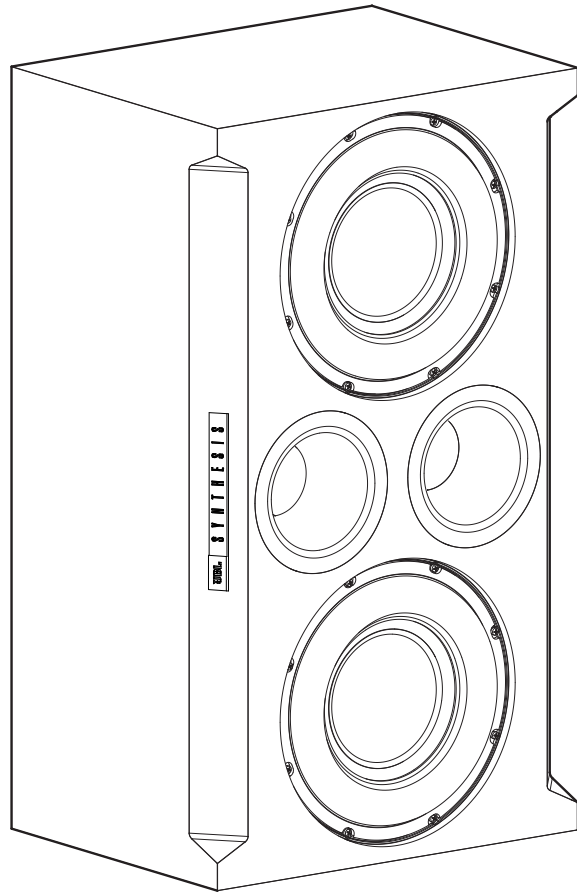


by HARMAN®

SYNTHESIS®



JBL® SSW-2

高性能12インチ・デュアル・パッシブ
Subwoofer

取扱説明書

JBL®をお選びいただき、ありがとうございます

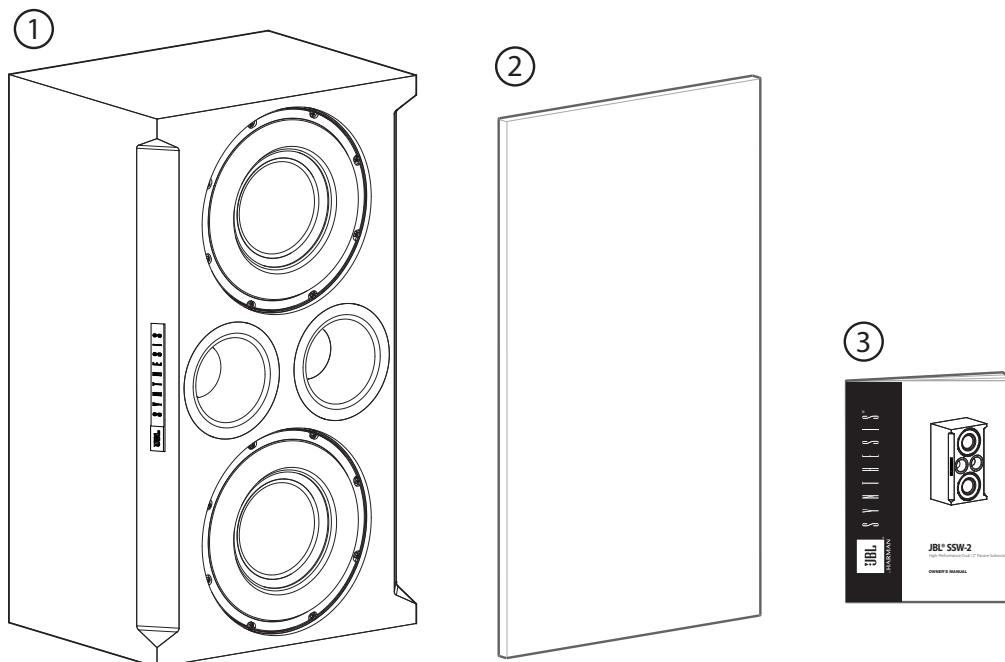
70年以上の間JBLは、ライブ・パフォーマンスから家、車、オフィス内で再生する音楽のレコーディングのモニタリングまで、あらゆる音楽と映画のレコーディングおよび再生シーンに関わってきました。

お客様が選択されたこのJBL Synthesisラウドスピーカーは、お客様が期待するあらゆる楽しい雰囲気をご提供します。従って、お客様が家、車、職場にオーディオ機器の追加購入をお考えの場合、再びJBL製品を選択されることを確信しております。

弊社のウェブサイトwww.jblsynthesis.comにお持ちの製品を登録してください。そうすれば、弊社の最新情報を受け取ることができます。お客様をより理解し、そのニーズと期待に応える製品を作るのに役立ちます。

全ての特性と仕様は予告なしに変更されることがあります。

同梱品



1. Subwoofer
2. グリル
3. 取扱説明書

設置

典型的なホームシアター・ルームの限られた領域でsubwooferを使用する場合、部屋の中で起こる反射、定在波、共鳴吸収体は低音域レスポンスにピークやディップを生み出し、それは部屋でのリスナーの位置によって大きく変わります。1か所に座ったリスナーは、その位置でのレスポンス・ピークによって生じた過剰な低音を聞くことがあります。数フィートだけ離れた他のリスナーは、その位置でのレスポンス・ディップによって生じた相当な低音が欠如したサウンドを聞く可能性があります。

室内のsubwooferの位置は(部屋の面積に加えて)これらの低音域レスポンス・ピークおよびディップの発生に大きく影響します。慎重にsubwooferを設置するだけでは部屋全体の低音域レスポンスのピークおよびディップを補正することはできませんが、慎重に設置すれば、最大のレスポンス・ディップを排除またはかなり減少させることができます。

イコライゼーションは大きなレスポンス・ディップの補正に使用することはできないので、適切なsubwooferの設置により、できるだけ部屋全体のレスポンス・ディップを減少させることは重要です。例えば、13dBのレスポンス・ディップを回復しようとしてイコライゼーションを使用すると、subwooferアンプがその周波数の20倍の出力を実現する必要があります。これはsubwooferアンプを急速にクリッピング状態までオーバードライブする可能性があり、オーディオ・クオリティを著しく劣化させます。

どの部屋でも、subwooferを部屋の隅に置けば大きな低音域レスポンス・ディップの発生を最小限にでき、ほとんどの大きな低音域レスポンス・ピークを生み出すこともできます。

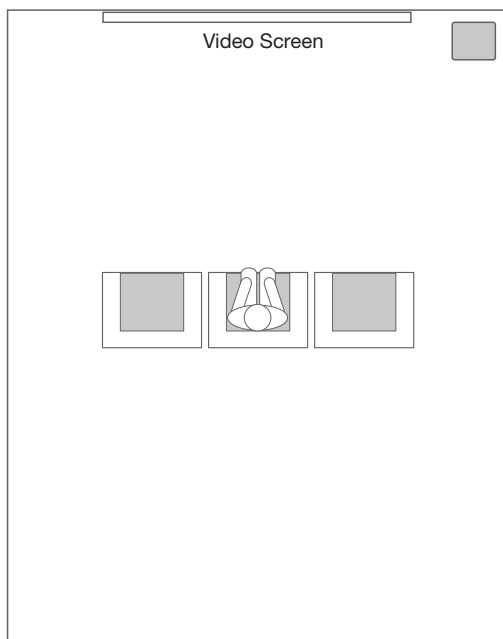
弊社は部屋のサイズにかかわらず、マルチsubwooferの設置を強くお勧めします。シングルsubwooferでも、部屋全体のバス・パフォーマンスが少しは一定します。マルチsubwooferを使用すれば様々なリスニング位置のいくつかのルームモードをキャンセルでき、結果としてリスニングエリア全体の低周波サウンド・クオリティがより一定になります。さらに、多くの場合、大きなレスポンスディ

ップ(たいていイコライゼーションによって補正することはできない)がなくなるようにシングルsubwooferを設置することは不可能です。2基または3基以上の適切に設置したsubwooferを使用すると、常にこうしたレスポンス・ディップを排除します。

壁の構造が反対側の壁に対して完全に同一であることはほぼ皆無なので、subwooferを $\frac{1}{4}$ の位置に設置するといった、一般的な決まったやり方が実際にうまくいくことは希です。最高の解決策は、スピーカーの設置位置を試しながら、通常のリスニング位置で高解像度の測定をすることです。

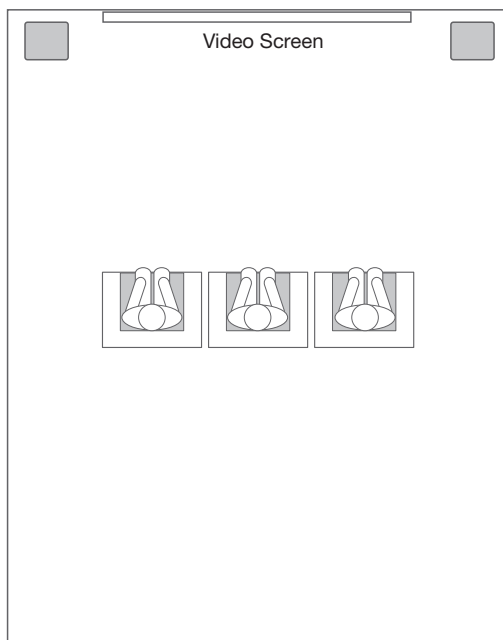
subwooferをリスニング位置に置き、音響の相互関係を利用して部屋の中の良さそうな設置位置を試せば、最適な位置を素早く見つけることができます。この方法で最適な設置位置を測定すれば、レスポンス内のピークやディップの発生を最小限にすることができます。

シングルSUBWOOFERの設置

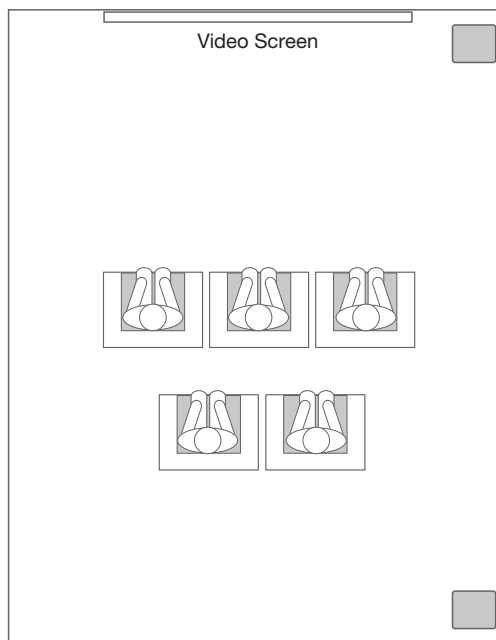


2基のSUBWOOFERの設置

2基のSubwooferの設置は部屋の座席の配置によって決まります。

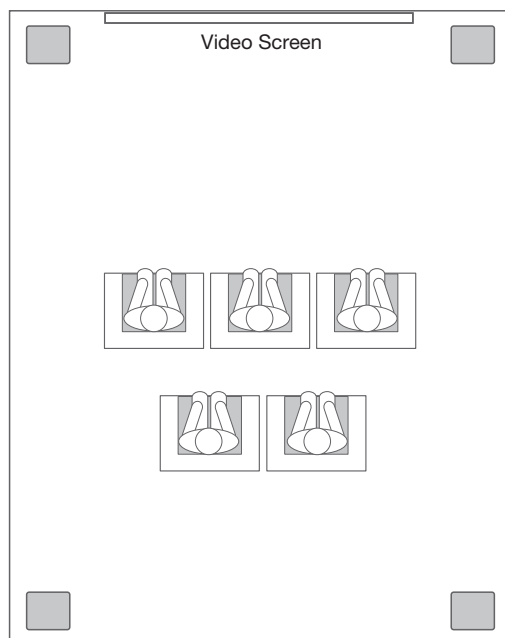


座席が一行の部屋



座席が複数列の部屋

4基のSUBWOOFERの設置



接続

スピーカーと電子回路はプラス(+)とマイナス(-)端子に対応しています。JBLを含むスピーカーと電子機器の大部分のメーカーは(+)端子に赤を使い、(-)端子に黒を使って示しています。両方の端子を同様に接続することが重要です。スピーカーの(+)をアンプの(+)に、スピーカーの(-)をアンプの(-)に接続します。「逆相」に配線すると、結果的に薄っぺらいサウンド、弱い低音、貧弱なステレオ・イメージになります。マルチチャンネル・サラウンド・サウンド・システムでも、プログラム・サウンドの適切な臨場感と指向性を保つために、システムの全てのスピーカーを正しい極性で接続することは依然として重要です。

2基のSSW-2 Subwooferをお使いの場合、両スピーカーの配線は同じ長さである必要があります。低音域レスポンスが不十分だと感じられる場合、2基のSubwooferが互いに音波を打ち消し合うという、フェーズの問題である可能性があります。低音域レスポンスが不十分だと感じられる場合、片方のSubwooferの極性を逆にしてみてください。つまり、アンプの(+)端子をスピーカーの(-)端子に、アンプの(-)端子をスピーカーの(+)端子に接続するのです。

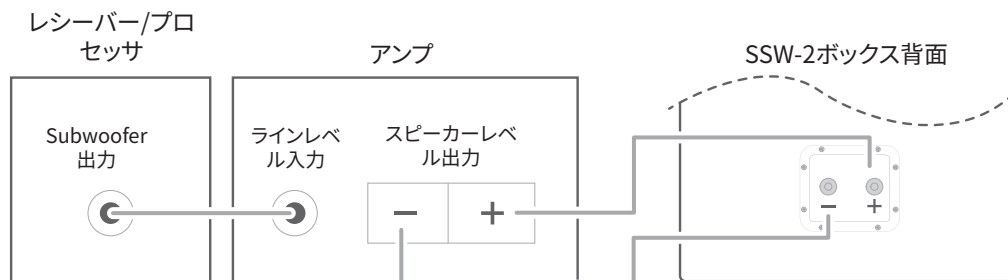
SSW-2 Subwooferの背面にある端子カップの電極柱スピーカー端子を使うには、センターポストを貫通する穴がノブの下に見えるまで、色の付いたノブをねじって緩めてください。この穴にむき出しになったワイヤーの端を差し込んで通し、しっかりと接続されるまでノブを締めてください。スパードコネクタを使用する場合は、ノブを締める前にポスト周辺に差し込むことができます。各ノブの中央の穴はバナナタイプ・コネクタの使用を想定しています。正しい極性を順守していることをご確認ください。アンプの負電極(-)端子からのワイヤーは負電極(-)または端子カップ上の黒の端子に接続する必要があり、アンプの陽電極(+)端子は陽電極(+)または端子カップ上の赤の端子に接続する必要があります。

SSW-2はパッシブ・ラウドスピーカーなので、スピーカーレベル配線しかご利用いただけません。SSW-2 subwooferは、JBL® Synthesis SDAアンプと合わせて使用するよう特別に設計されています。また、JBL SDA-4600アンプの使用により、最高の音の強弱と周波数特性を実現するように最適化されており、SDA-4600アンプは特許取得のSSW-2チューニング・ファイルを使用し、SSW-2の特徴であるリアクティブ負荷インピーダンスを駆動させるように特別に設計されています。SSW-2と共に、別のSDAアンプを使用する場合、SSW-2チューニング・ファイルの適切な調整と読み込み用に認証されたSynthesisインストーラーをつなぎます。SSW-2はブリッジモードで、2つのSDA-4600チャンネルを動力源とすることが可能です。

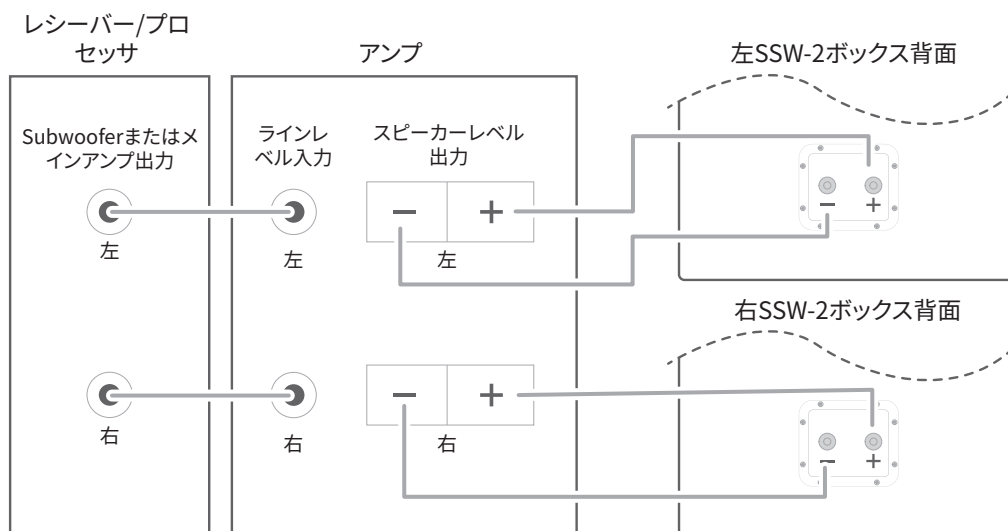
メインレシーバーまたはプロセッサのラインレベル・サブウーファー出力をお持ちのsubwooferアンプのラインレベル入力に接続してください。

2基または3基以上のsubwooferを使用する場合、それぞれがプロセッサまたはレシーバーの適切な出力に接続された、適正な数のアンプチャンネル(これらはモノブロックまたはマルチチャンネル・アンプにすることが可能です)を使用します。次に、1基のSSW-2 subwooferシステムに、各アンプチャンネル用の陽電極および負電極端子を接続します。

モノラルモードで1基のSSW-2 SUBWOOFERを使用



ステレオモードで2基のSSW-2SUBWOOFERSを使用



ワイヤーの長さ

推奨サイズ

最高30フィート(約9.1メートル)	14ゲージ(最低の厚さ)
30フィート(約9.1メートル)超	12ゲージ(最低の厚さ)

トラブルシューティング

症状	解決策
スピーカーから音が出ない場合	<ul style="list-style-type: none">レシーバー/アンプの電源が入っていて、ソースが再生中であることをチェックしてください。レシーバー/アンプとスピーカー間の全配線と接続をチェックしてください。全ての配線が接続されていることをご確認ください。どのスピーカーワイヤーもボロボロになったり、切れたり、穴が開いたり、互いに接触していないことをご確認ください。
バス出力が低い(または、出ていない)場合	<ul style="list-style-type: none">スピーカー入力への接続が正しい極性(+および-)になっていることをご確認ください。2基のSSW-2subwooferをお使いの場合、6ページに記載されているように、片方のsubwooferの極性を逆にしてみてください。SSW-2subwooferを作動させるため、セパレート・パワーアンプの追加もご検討ください。SSW-2subwooferと共にパワーアンプを使用する場合、レシーバー/プロセッサのsubwoofer出力が使用可能になっていることをご確認ください。正しいスピーカー設定の詳細情報については、お持ちのレシーバー/プロセッサの取扱説明書をご覧ください。
システムの再生音量が小さくて、音量を上げると電源が切れる場合	<ul style="list-style-type: none">レシーバー/アンプとスピーカー間の全配線と接続をチェックしてください。全ての配線が接続されていることをご確認ください。どのスピーカーワイヤーもボロボロになったり、切れたり、穴が開いたり、互いに接触していないことをご確認ください。2組以上のメインスピーカーが使用されている場合、レシーバー/アンプの最低インピーダンスの必要条件をチェックしてください。
サブウーファーから中音域周波数(ボーカルなど)が聞こえる場合	<ul style="list-style-type: none">ノーマルモードを使用している場合は、お持ちの機器のクロスオーバー周波数を低周波に調節してください。

仕様

周波数特性	20Hz～400Hz(-6dB)
最大推奨アンプ出力	1チャンネルにつき1200W RMS
インピーダンス	公称8Ω
出力音圧レベル	93dB(1mで1W)@60Hz
ウーファー	12インチ/300mmデュアル黒陽極酸化アルミニウム・コーンウーファー
寸法(高さ×幅×奥行):	33 x 19 x 15.3インチ (838.2mm x 482.6mm x 389.16mm)
1基の重量	141ポンド (64kg)

Please visit JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM for additional language support on the user manual.

Veuillez visiter JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM pour obtenir le mode d'emploi en d'autres langues.

Para obter o manual do usuário em outros idiomas, acesse JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM

Ga naar JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM voor de handleiding in andere talen.

Gå til JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM for bruksanvisning på flere språk.

Если вам требуется дополнительные версии руководства пользователя на других языках, посетите сайт JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM.

別の言語に対応したユーザーマニュアルを読むには、JBL SYNTHESIS.COMにアクセスしてください。

사용자 설명서에 대한 추가 언어 지원은 JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM에서 확인하십시오

请访问 JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM 以获取其他语言版本的用户手册。

Visita JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM para obtener el manual de usuario de soporte en idiomas adicionales.

Weitere Sprachfassungen der Bedienungsanleitung findest Du unter JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM.

Si prega di visitare JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM per i manuali di istruzioni in altre lingue.

Jos tarvitset ylimääräistä kieleen liittyvää tukea käyttöohjeesta, käy osoitteessa JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM.

Gå ind på JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM for at se betjeningsvejledningen på flere sprog.

Gå till JBL.COM / JBLSYNTHESIS.COM för mer information om språk i användarmanualen.

Торговая марка:	JBL
Назначение товара:	Пассивная акустическая система
Изготовитель:	Харман Интернешнл Индастриз Инкорпорейтед, США, 06901 Коннектикут, г.Стэмфорд, Атлантик Стрит 400, офис 1500
Страна происхождения:	Китай
Импортер в Россию:	ООО "ХАРМАН РУС СиАйЭс", Россия, 127018, г.Москва, ул. Двинцев, д.12, к 1
Гарантийный период:	1 год
Информация о сервисных центрах:	www.harman.com/ru тел. +7-800-700-0467
Срок службы:	5 лет
Срок хранения:	не ограничен
	Товар не подлежит обязательной сертификации
Дата производства:	Дата изготовления устройства определяется по двум буквенным обозначениям из второй группы символов серийного номера изделия, следующих после разделительного знака «-». Кодировка соответствует порядку букв латинского алфавита, начиная с января 2010 года: 000000-MY0000000, где «M» - месяц производства (A - январь, B - февраль, C - март и т.д.) и «Y» - год производства (A - 2010, B - 2011, C - 2012 и т.д.).

产品中有害物质的名称及含量

部件名称	目标部件	有害物质或元素					
		铅(Pb)	汞(Hg)	镉(Cd)	六价铬(Cr(VI))	多溴联苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
电路板	印刷电路板, 电路板上的电子零件 (不包括特定电子零件), 内部相关连接线	X	0	0	0	0	0
箱体	外壳, 面板, 背板等	X	0	0	0	0	0
特定电子零部件	变压器, 保险丝, 大型电解电容, 电源插座	X	0	0	0	0	0
附件	电线, 说明书, 包装等	X	0	0	0	0	0

本表格依据SJ/T 11364的规定编制

O: 表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T 26572 规定的限量要求以下。

X: 表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T 26572规定的限量要求。



在中华人民共和国境内销售的电子电气产品上将印有“环保使用期”(EPU)符号。圆圈中的数字代表产品的正常环保使用年限。






HARMAN International, Incorporated
8500 Balboa Boulevard, Northridge, CA 91329 USA

www.jblsynthesis.com

© 2019 HARMAN International Industries, Incorporated. All rights reserved.

JBL is a trademarks of HARMAN International Industries, Incorporated, registered in the United States and/or other countries.

Features, specifications and appearance are subject to change without notice.

 Part No. 950-0560-001